

「日本写真保存センター」大阪保存セミナー
写真フィルムを長期保存するには…
—講演と包材のデモンストレーション—

皆さまが撮られてきた数多くの写真フィルムが、知らぬ間に劣化が進み使用できないまでにダメージを受けていることをご存知ですか。

「日本写真保存センター」では 2007 年から、文化庁の委嘱を受けて「写真フィルムの保存・活用」と「文化関係資料のアーカイブの構築」に関する調査研究を行っています。これまで最も一般的に使われてきた TAC（トリアセテートセルロース）フィルムの劣化現象のひとつに、ビネガーシンドロームと呼ばれるフィルムベースの加水分解による劣化があります。

フィルムは高温、高湿度の環境に長く置かれたままだと約 10 年で劣化が起こり、使用できなくなります。対策としては、低温、低湿度の場所に移して、フィルムが納まっている包材を中性紙のものに交換する必要があります。

本セミナーでは、写真原板の適切な保存について保存科学の専門家にご説明をいただき、あわせて包材メーカーによる写真関連の包材展示を行います。展示では包材を実際に手に取ってご覧いただけます。ぜひご参加ください。

日時：2017年10月20日（金）14:00～16:30（13:30より受付）

場所：メットライフ本町スクエア（旧大阪丸紅ビル）B1会議室

大阪府中央区本町2-5-7 <富士フィルムフォトサロン大阪の地下会議室です>

基調講演「写真・映像資料の保存—国立民族学博物館での取り組み」（仮題）

園田直子（国立民族学博物館教授）

日本写真保存センターについて

松本徳彦（公益社団法人日本写真家協会副会長）

日本写真保存センターの保存対策

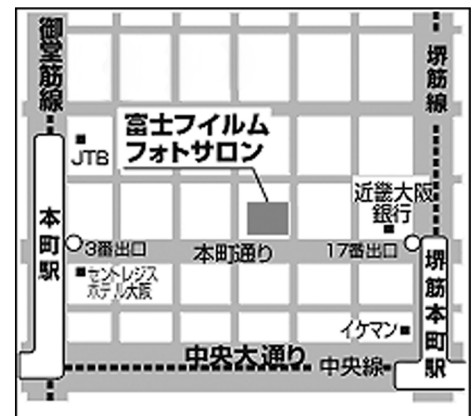
中川裕美（日本写真保存センター調査員）

参加会社：(株)コスモスインターナショナル、(株)資料保存器材、
(株)TTトレーディング、PGI、
ラーソン・ジュール・ニッポン(株) ※50音順

定 員：80名（申込先着順、満席の場合のみご連絡します。）

参加費：無料

申込先：Faxまたはe-mailで、日本写真家協会事務局まで



Fax: 03-3265-7460 e-mail: info@jps.gr.jp

氏名

e-mail

連絡先 〒

所属

電話

Fax

*ご記入いただいた個人情報は、日本写真家協会が開催する研究会のご案内の目的のみに使用させていただきます。

公益社団法人 **日本写真家協会**

〒102-0082 東京都千代田区一番町 25 番地 JCHビル 303 TEL:3265-7451